

「ふね遺産」（推薦様式）：A4 一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

No.(*)	内容	備考
1. 対象物・資料の名称・所属または所有者	対象物：全軽合金製 15m 型巡視艇「あらかぜ」 所有者：公益財団法人琴平海洋会館	
2. 対象物の作成・存在時期	1954(昭和 29)年 3 月 29 日竣工。	
3. 現状 (写真添付)	1982(昭和 57)年 7 月 15 日海の記念日より、(公財)琴平海洋会館が運営する琴平海洋博物館(海の科学館)に公開展示中。 	屋外に公開展示
4. ふね遺産認定基準の該当項目(**)	【認定対象】 (1) 【認定基準】 (1)	
5. 歴史的・工学技術的意義	1. 世界に先駆けた耐食性と溶接性の優れた軽合金を使用し、わが国で初めて建造された全軽合金高速船。 2. 本船の建造中、就航後を通じて行われた諸試験研究の成果がすべて公表され、これによりわが国の軽合金船、軽合金製船舶上部構造を製造しようとする造船所は、大造船所、小造船所を問わず製造が可能になった。 3. 就航中の良好な成績と、27 年間の就役後に艇体から採取した試験片に腐食などはなく竣工時のままの機械的性質・耐食性を維持していた。これと 2 項により、時代の高速化、軽量化のニーズに応え艦艇、巡視船艇、官公庁船、旅客船、漁船など大小 3,000 隻を超える全軽合金船が建造され、船舶の上部構造、LNG 船などの大型深冷タンクや関連陸上設備に、さらに鉄道車両・新幹線車両や橋梁など船舶の他の分野にも耐食・溶接軽合金の採用・使用が拡大した。	
6. 参考資料・文献 (本表に収まらない場合は別途添付する)	添付資料「全軽合金製 15m 型巡視艇”あらかぜ”」	

(*) No.は学会で記載します。

(**) ふね遺産認定基準の【認定対象】と【認定基準】の項目の内、該当する最もふさわしい項目一つを、文頭の番号で記載して下さい。